



HP DreamColor Z24x ディスプレイ

ユーザー ガイド

© 2014 Hewlett-Packard Development
Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国
Microsoft Corporation の米国およびその他
の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービス
に対する保証は、当該製品およびサービス
に付属の保証規定に明示的に記載されてい
るものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますのでご了
承ください。


本書には、著作権によって保護された所有
権に関する情報が掲載されています。本書
のいかなる部分も、Hewlett-Packard
Company の書面による承諾なしに複写、複
製、あるいは他言語へ翻訳することはでき
ません。


初版：2014 年 5 月


製品番号：751586-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、および技術仕様について説明します。

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

目次

1 製品の特長	1
Z24x ディスプレイ	1
2 安全および保守に関するガイドライン	3
安全に関する重要な情報	3
保守に関するガイドライン	4
モニターの清掃	4
モニターの運搬	4
3 モニターの設置	5
モニターを設置する際の注意	5
スタンドの取り付け	6
背面の各部	7
ケーブルの接続	8
フロント パネルの各部	13
モニターの調整	14
モニターの電源投入	16
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー	17
USB デバイスの接続	17
モニター スタンドの取り外し	18
モニターの取り付け	18
HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使って取り付ける場合	19
HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使用しないで取り付ける場合	21
シリアル番号と製品番号の位置	22
情報カードの位置	22
ロック ケーブルの取り付け	23
4 モニターの操作	24
ソフトウェアおよびユーティリティ	24
情報ファイル	24
Image Color Matching ファイル	24
.INF および.ICM ファイルのインストール	25
ディスクからのインストール	25
Web サイトからのダウンロード	25

PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用	25
DisplayPort マルチストリーム	26
ベゼル ボタンの機能の変更	27
ベゼル ボタンのランプの調整	27
自動スリープ モードの使用	28
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	28
色の管理	33
カラー プリセット	33
色補正：工場出荷時	33
色補正：ユーザー	34
自動 EDID アップデート	34
付録 A 技術仕様	35
Z24x モデル	35
プリセット ディスプレイ解像度について	36
付録 B サポートおよびトラブルシューティング	37
一般的なトラブルの解決方法	37
製品サポート	38
お問い合わせになる前に	39
付録 C 規定に関するご注意	40
Federal Communications Commission Notice (米国向け)	40
Modifications	40
Cables	40
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only)	40
Canadian Notice (カナダ向け)	41
Avis Canadien (カナダ向け)	41
European Union Regulatory Notice (欧州連合向け)	41
German Ergonomics Notice (ドイツ向け)	41
日本向け	42
Korean Notice (韓国向け)	42
電源コードの要件	42
日本国内での電源コードの要件	42
製品環境に関するご注意	43
国際エネルギー スター プログラムへの適合	43
有害物質の破棄	43
Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union (欧州連合向け)	44

HP リサイクル プログラム	44
化学物質	44
製品の部材表示について	44
China Restriction of Hazardous Substances (中国向け)	45
Turkey EEE Regulation (トルコ向け)	45
Ukraine Restriction of Hazardous Substances (ウクライナ向け)	45
付録 D LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針	46

1 製品の特長

Z24x ディスプレイ

この液晶ディスプレイ（LCD）では、アクティブマトリクス方式のIPS（In-Plane Switching）パネルを採用しています。このモニターの特長は以下のとおりです。

- 1920×1200以下の解像度をフルサポートする、表示領域24インチ（対角長61.0cm）のディスプレイ。オリジナルの縦横比を保ったまま、最大のサイズまで自由にイメージを拡大することも可能です
- ワイドなカラーガマットによって、AdobeRGBとsRGBの両方の色空間を100%カバー
- モニターの色領域を正確に再マッピングできる機能（パネルがサポートしているカラーガマットの範囲内）によって、色空間を選択したり、RGBプライマリを高精度に設定することが可能になり、一貫性と再現性の高い色を実現
- 色と輝度の安定性が非常に高い（通常の使用条件下）
- 工場出荷時設定の調整済み色空間として、AdobeRGB、BT.709、およびsRGBを備え、最低限の設定で色設定が重要なアプリケーションで使用可能
- 再調整可能なカラープリセットにより、原色、白色点、ガンマ、および輝度（別売のHP DreamColor キャリブレーションキットが必要）を指定して、標準またはカスタム色空間に再調整が可能
- 工場出荷時の調整設定またはユーザー調整設定を復元するためのオプションが用意されており、モニターを容易に出荷時設定またはユーザー設定に復元可能
- ユーザー調整に必要なDreamColorキャリブレーションキット（別売）
- キャリブレーション機器を持っていないお客様用の、ユーザーが調整可能な色設定
- フロントパネルにある再設定可能な4つの機能ボタンによって、頻繁に使用する操作をすばやく選択可能
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度、高さ、回転角度、および向きを調整可能
- モニターパネルを固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニタースタンド
- HP クイックリリース2により、ワンタッチですばやくモニターをスタンドに取り付けたり、リリースタブをスライドさせるだけでモニターを取り外したりすることが可能
- スタンド背面に取り付けるオプションのThin Client設置ブラケット（別売）
- HPサポートへの問い合わせに必要な情報が記載された、簡単に取り出せる引き出し式情報カード
- DisplayPort デジタル（ケーブルが付属）、DVI デジタル（ケーブルが付属）、およびHDMI デジタル（ケーブルは別売）ビデオ信号入力をサポート
- DisplayPort 出力コネクタにより、DisplayPort マルチストリームをサポート
- アナログオーディオ出力により、ヘッドフォンまたは別売のHPスピーカーバーをサポート

- USB 3.0 ハブ（コンピューターに接続するアップストリーム ポート（ケーブルが付属）×1、USB デバイスに接続するダウンストリーム ポート×4）
- プラグ アンド プレイ機能（オペレーティング システムでサポートされる場合）
- 左右からの視線を遮断するプライバシー フィルター（別売）用スロット
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- PIP 機能によって、DisplayPort、DVI、および HDMI 入力を、小さな補助ウィンドウまたはメインウィンドウ上で並べて表示することが可能
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- モニター ドライバー、製品の説明書、および Windows®ベースのキャリブレーション ソフトウェアが収録された『Software and Documentation』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション）CD

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについては、[42 ページの「電源コードの要件」](#)を参照してください。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ・ 電源コードは常に、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。
- ・ コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- ・ 電源コードに3ピンのアタッチメント プラグがある場合は、コードを3ピンのアースされた電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース ピンを使用して接地してください。アース ピンは重要な安全機能です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

⚠ 注意： モニターおよびコンピューターを保護するために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。


⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。


- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流 (AMPS または A) は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバー プログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** 画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気の良い場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにしてください。
- モニター スタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切ってモニターの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピル アルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。

 **注意：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。


注意： ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3 モニターの設置

モニターを設置するには、モニター、コンピューター システム、およびコンピューターに接続されているその他の装置の電源がオフになっていることを確認してから、以下の作業を行います。


 **注記：** モニターの背面にある主電源スイッチが OFF の位置にあることを確認してください。主電源スイッチを切るとモニターのすべての電源がオフになります。

モニターを設置する際の注意

モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

スタンドを取り付ける場合は、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。これにより、画面を傷つけたり、汚したりすることや、フロント パネルのボタンを損傷したりすることを防止できます。



 **注記：** お使いのモニターの外観は、この図のモニターと多少異なる場合があります。

スタンドの取り付け

注意： LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

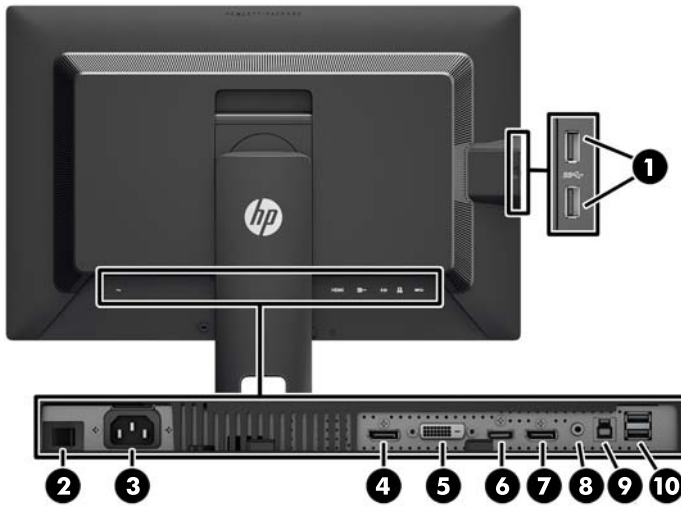
HP クイックリリース 2 を使用してモニターを簡単に動かすことができます。パネルをスタンドに取り付けるには、以下の操作を行います。











1. モニター パネルの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドのマウント プレート上部 (1) を、パネル背面にあるくぼみの上部の縁の下にスライドさせます。
3. スタンドのマウント プレート下部 (2) をくぼみに挿入し、カチッという音がするまで押し込みます。
4. スタンドが所定の位置に固定されると、HP クイック リリース 2 のラッチ (3) が飛び出します。



注記： モニターをスタンドではなく壁またはスイング アーム等の固定器具に取り付ける場合は、[18 ページの「モニターの取り付け」](#)を参照してください。

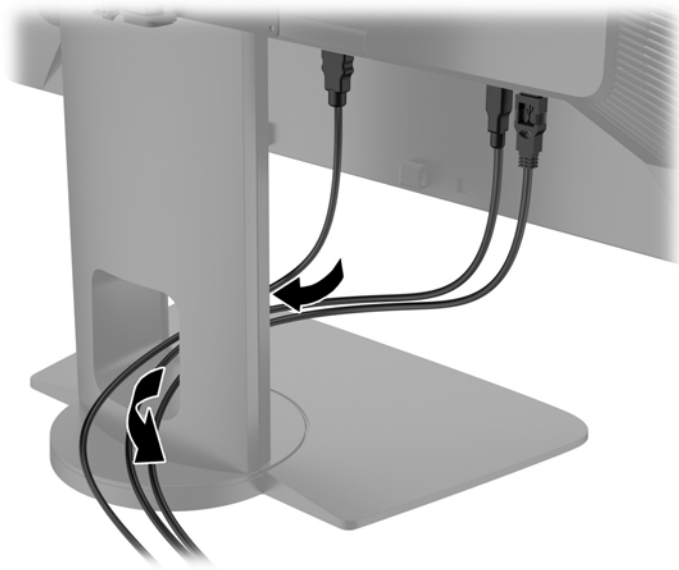
背面の各部




名称	機能	
1		USB 3.0 ダウンストリームポート (サイド パネル) 別売の USB デバイスをモニターに接続します
2		主電源スイッチ モニターのすべての電源をオフにします 注記: モニターを使用していないときにこのスイッチを OFF の位置にすると、モニターの消費電力が最も低い状態になります
3		外部電源コネクタ 外部電源コードをモニターに接続します
4		DisplayPort 入力コネクタ DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
5		DVI-D DVI-D ケーブルをモニターに接続します
6		HDMI HDMI ケーブルをモニターに接続します
7		DisplayPort 出力コネクタ 2 番目のモニターを接続します
8		オーディオ出力コネクタ ヘッドフォンまたは別売の HP スピーカー バーをモニターに接続します
9		USB 3.0 アップストリームポート モニターの USB ハブ ポートとホストの USB ポート/ハブを USB ハブ ケーブルで接続します
10		USB 3.0 ダウンストリームポート 別売の USB デバイスをモニターに接続します

ケーブルの接続


1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ケーブルを接続する前に、ケーブルをスタンド中央のケーブル配線穴に通しておきます。

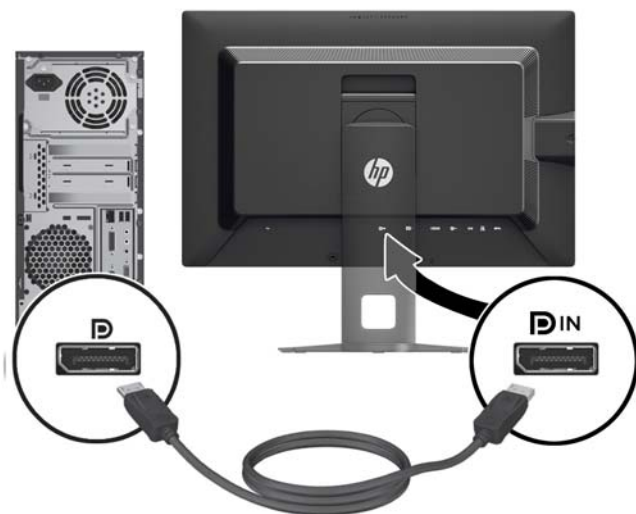


3. 構成に応じて、DisplayPort、DVI、または HDMI のどれかのビデオ ケーブルでコンピューターとモニターを接続します。

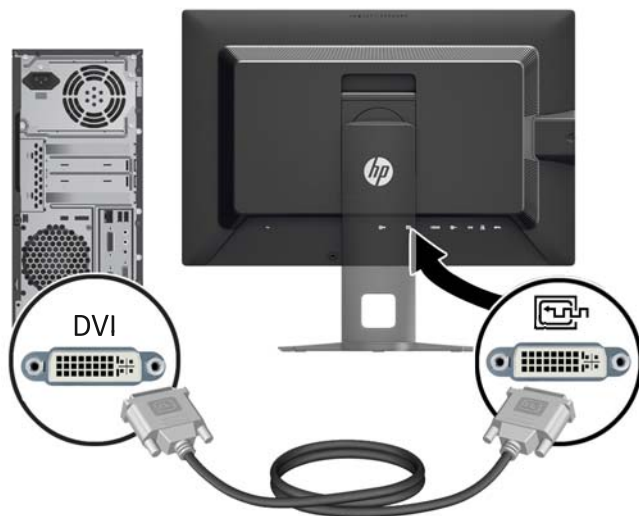
 **注記：** ビデオ モードは、使用するビデオ ケーブルの種類によって決まります。入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。ビデオ信号の入力を選択するには、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを使用します。そのためには、フロント パネルにある 5 つのボタンのどれかを押しボタンを有効にしてから、[メニュー表示] ボタンを押して OSD を表示します。OSD で、[ビデオ入力] を選択して、目的の入力ソースを選択します。

- DisplayPort 接続の場合は、DisplayPort ビデオ ケーブル (一部のモデルのモニターに付属) の一方の端をモニター背面の DisplayPort 入力コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの DisplayPort コネクタに接続します。

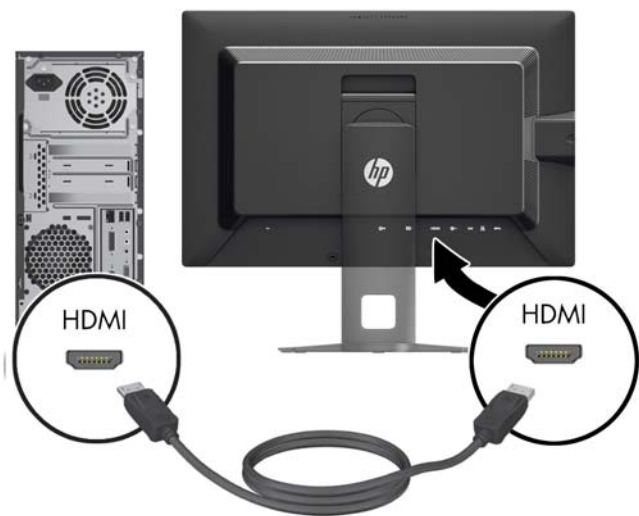
 **注記：** DisplayPort ケーブルは、DisplayPort 出力コネクタではなく、DisplayPort 入力コネクタに接続する必要があります。ケーブルを DisplayPort 出力コネクタとコンピューターに接続すると、モニターが機能しません。




- DVI 接続の場合は、モニターに付属の DVI-D ビデオ ケーブルの一方の端をモニター背面の DVI コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの DVI コネクタに接続します。

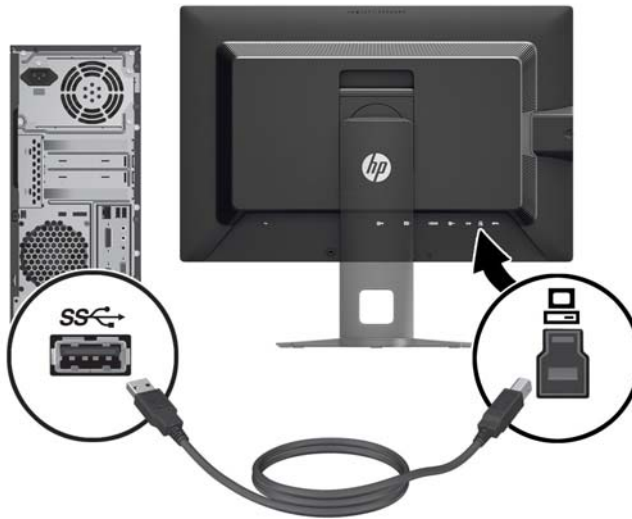


- HDMI 接続の場合は、HDMI ビデオ ケーブル（別売）の一方の端をモニター背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端をコンピューターの HDMI 出力端子に接続します。




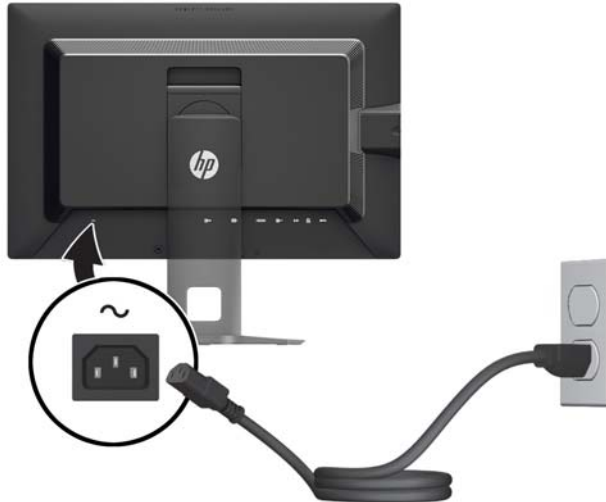
4. 付属の USB ハブ ケーブルの一方の端をコンピューターの背面の USB ハブ ポートに接続して、もう一方の端をモニターの USB アップストリーム コネクタに接続します。


 **注記：** このモニターは USB 3.0 をサポートしています。最適なパフォーマンスを得るには、使用可能であれば、USB ケーブルをコンピューターの USB 3.0 ポートに接続します。



5. 電源コードの一方の端をモニターの背面の外部電源コネクタに接続して、もう一方の端を電源コンセントに接続します。

 **注記：** モニターの背面にある主電源スイッチをオンの位置に設定してから、モニターのフロントパネルにある電源ボタンを押す必要があります。



 **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは常に、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。


電源コードに3ピンのアタッチメントプラグがある場合は、コードを3ピンのアースされた電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアースピンを使用して接地してください。アースピンは重要な安全機能です。


安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っばらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

フロント パネルの各部



名称	機能
1 機能ボタン	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを操作するときに使用します。OSD メニューを開くと、それぞれのボタンの横に、操作に関するインジケータが表示されます
2 メニュー表示ボタン	OSD の表示/非表示を切り替えます 注記： メニュー表示ボタンおよび機能ボタンを有効にするには、これらのボタンのどれかを押します。ボタンを押すと、ボタンのラベルが画面の右側に表示され、ボタンのランプが点灯します。なお、このガイドでは、機能ボタンとメニュー表示ボタンを合わせて「ベゼル ボタン」と表記することがあります
3 電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます 注記： モニターのリア パネルにある主電源スイッチがオンの位置になっていることを確認して、モニターの電源を入れます

 **注記：** HP Customer Self Repair Services Media Library (<http://www.hp.com/go/sml/>、英語サイト) から、OSD メニューのシミュレーションを見ることもできます。お使いのモニターのモデルを選択し、[On Screen Display (OSD) simulator]を選択してください。

 **注記：** ベゼル ボタンの明るさを調整したり、OSD のボタンの機能を変更したりできます。詳しくは、[27 ページの「ベゼル ボタンのランプの調整」](#)および[27 ページの「ベゼル ボタンの機能の変更」](#)を参照してください。

モニターの調整

1. モニターのパネルを前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. モニターを左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。



3. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニター パネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクト レンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も必ず調整しなおしてください。




4. 必要に応じて、モニターの表示方向を横向きから縦向きに回転できます。
- モニターが最も高い位置になるように調整してから、完全に後方に傾いた位置まで傾斜角度を調整します (1)。
 - モニターを時計回りに 90°回転させて、横向きから縦向きに変更します (2)。

⚠ 注意： 回転させるとき、モニターが最も高い位置で完全に後ろに傾斜していないと、モニター パネルの右下隅がスタンドに接触するため、モニターが損傷するおそれがあります。

別売のスピーカー バーをモニターに取り付ける場合は、モニターを回転させてから取り付けてください。モニターを回転させてから取り付けないと、モニターの回転中にスピーカー バーがスタンドに接触し、モニターまたはスピーカー バーが損傷する可能性があります。




 **注記：** このモニターには自動回転センサーが搭載されており、モニターを回転すると、表示されているオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが横向きから縦向きに自動的に変更されます。画面に表示されている OSD を縦向きから横向きに回転させるには、オペレーティングシステムのディスプレイ設定を使用してください。


モニターの電源投入

1. モニターの背面にある主電源スイッチをオンの位置に設定します。
2. 電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
3. モニターのフロント パネルにある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



 **注意：** モニターに長時間*一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

* ここで長時間とは、同じ静止画像が表示されたまま連続して 12 時間経過した状態を指します。

 **注記：** 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

モニターの電源が入ると、モニター ステータス メッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り換え設定のステータス (オンまたはオフ、工場出荷時の初期設定はオン)、初期設定のソース信号 (工場出荷時の初期設定は DisplayPort)、現在のプリセット ディスプレイ解像度、および推奨されるプリセット ディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。2 つ以上の入力 that アクティブな場合は、初期設定の入力ソースが表示されます。初期設定のソースがアクティブな入力に含まれていない場合は、最も優先順位の高い入力が表示されます。入力ソースはオンスクリーン ディスプレイ (OSD) で選択できます。フロント パネルにある 5 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、[メニュー表示] ボタンを押して OSD を表示します。OSD で、[ビデオ入力] を選択して、目的の入力ソースを選択します。


しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

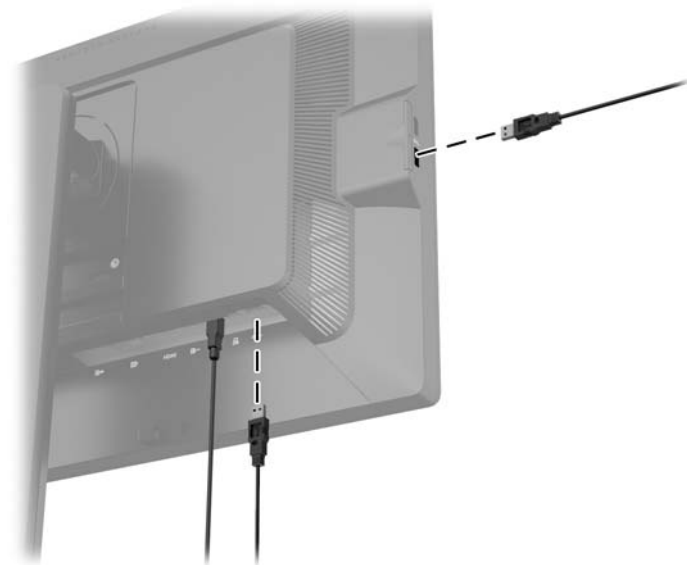
IPS モデルのモニターは、非常に広い視野角と高画質を実現する IPS (In-Plane Switching) ディスプレイ技術で設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、静止画像、停止画像、または固定画像を長時間スクリーンセーバーを使用しないで表示するような用途には向いていません。そのような用途には、カメラによる監視、ビデオゲーム、マーケティングロゴ、画面に長時間表示されるテンプレートなどがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

1 日中使い続けたために画像の焼き付きが発生したモニターは、HP の保証の対象外です。画像の焼き付きが発生しないようにするには、モニターを使用しないときは常にモニターの電源を切断するか、電源管理設定を使用して、システムがアイドル状態になるとディスプレイの電源が切断されるようにします (システムでサポートされている場合)。

USB デバイスの接続

4 つの USB ダウンストリーム ポートがあります (2 つは背面、2 つは側面)。

 **注記：** モニターの USB ポートを有効にするには、USB ハブ ケーブルをモニターからコンピューターに接続する必要があります。「[8 ページの「ケーブルの接続」](#)」の手順 4 を参照してください。



モニター スタンドの取り外し

モニターを壁掛け式にしたり、またはスイング アームやその他の固定器具を取り付けたりするために、モニター パネルからスタンドを取り外すことができます。

⚠ 注意： モニター スタンドの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていること、および電源ケーブルとビデオ ケーブルが電源コンセントやコンピューターから取り外されていることを確認してください。また、モニターに接続されているその他のケーブルを取り外してください。

1. モニターからビデオ ケーブル、電源ケーブル、および USB ケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. モニター下部の中央近くにあるラッチを押して、HP クイック リリース 2 のロックを解除します (1)。
4. スタンドの下部を上方向に回転させ、マウント プレートに隠れていたパネルのくぼみが完全に見えるようにします (2)。
5. スタンドをスライドさせて、くぼみから取り外します (3)。



モニターの取り付け

モニター パネルは、壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使って取り付ける方法と、HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使わずに取り付ける方法があります。

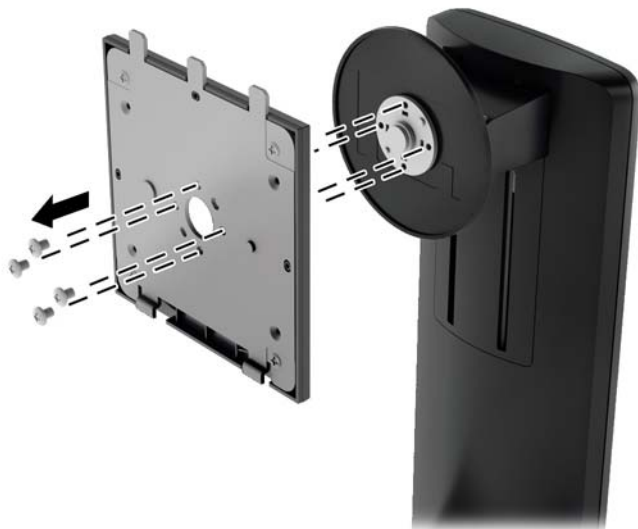
📖 注記： この装置は、UL または CSA 規格に適合した取り付け器具で支えられるように設計されています。

⚠ 注意： このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷させるおそれがありますので使用しないでください。また、取り付けの固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。

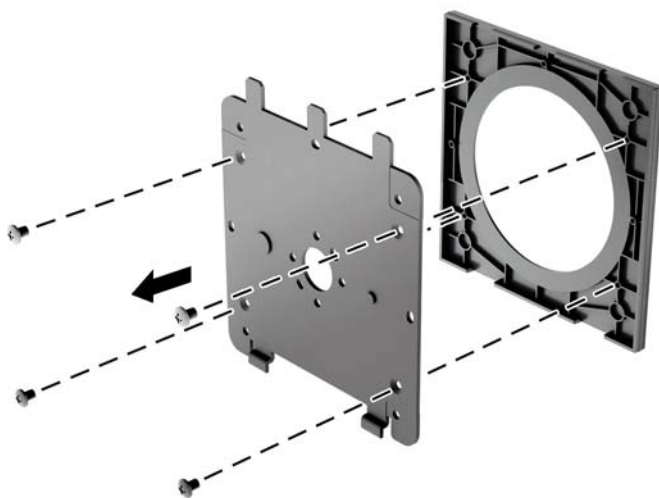
HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使って取り付ける場合

HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使ってモニター パネルを固定器具に取り付けるには、以下の操作を行います。

1. マウント プレートスタンドの先端部に固定している 4 つのネジを取り外します。



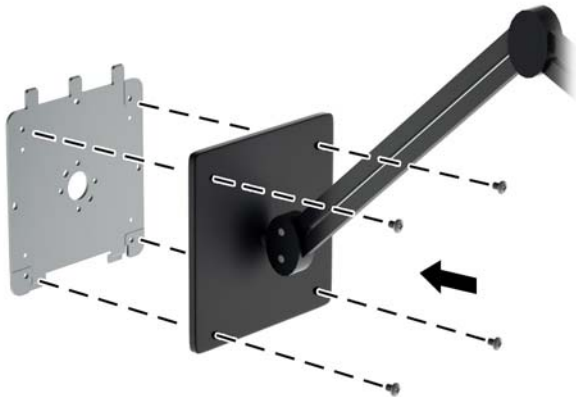
2. 4 つのネジを取り外して、マウント プレートをカバーから取り外します。



3. モニター パネル背面にある VESA 基準の取り付け穴から 4 つのネジを取り外します。



4. モニター パネル背面にある VESA 基準の取り付け穴から取り外した 4 つのネジを使って、マウント プレートを所定の壁またはスイング アームに取り付けます。

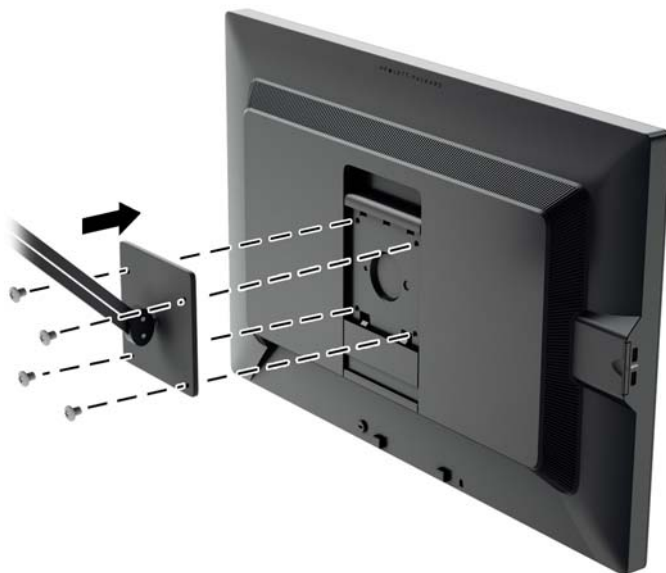


5. 壁またはスイング アーム等に取り付けたマウント プレートにモニター パネル背面のくぼみの位置をそろえ、プレートの上からモニターを差し込んで、しっかりと固定されるように押し込みます。モニターが安全に固定されると、モニターのリリース ラッチが飛び出します。




HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使用しないで取り付ける場合

HP クイック リリース 2 の取り付け器具を使用しないで、モニター パネルを固定器具に直接取り付ける場合は、モニター パネル背面にある VESA 基準の取り付け穴から取り外した 4 つのネジを使って、モニター パネル背面に取り付け器具を装着します。



シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号と製品番号は、モニター本体の背面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

 **注記：** 場合によっては、ラベルを読むためにモニター本体をある程度回転させる必要があります。



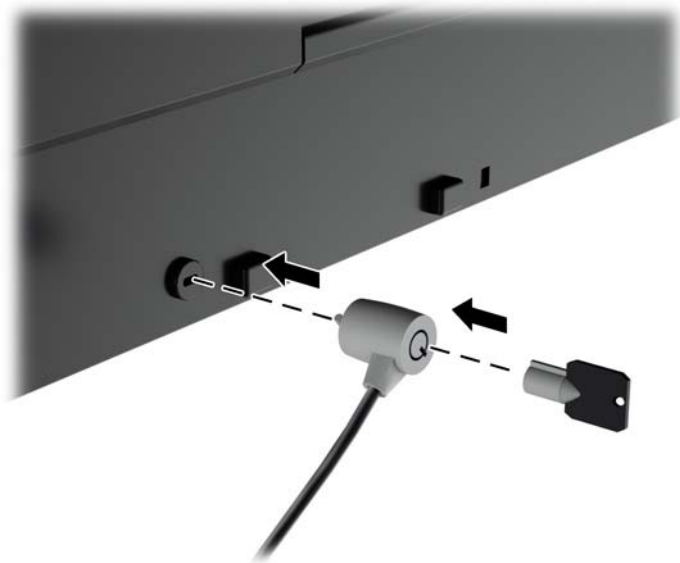
情報カードの位置

識別情報は、引き出し式カードに記載されています（モニター背面のラベルにも記載されています）。このカードは、パネルの左側面にある USB ポートの裏側から引き出します。保証サポート情報（モデル番号、シリアル番号、製品番号）はカード（およびラベル）の前面に、規定情報はカードの背面に記載されています。



ロック ケーブルの取り付け

別売のロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。



4 モニターの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ

モニターに付属のディスクには、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録されています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）
- 色補正ソフトウェア



注記： モニターにディスクが付属していない場合は、.INF および.ICM ファイルを HP のサポートサイトからダウンロードできます。この章の25 ページの「[Web サイトからのダウンロード](#)」を参照してください。

情報ファイル

.INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックス アダプターとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows オペレーティング システムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Microsoft Windows プラグ アンド プレイ機能に対応しており、.INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグ アンド プレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックス カードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックス カードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグ アンド プレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

.ICM ファイルはグラフィックス プログラムとともに使用されるデータ ファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックス プログラムの実行時に有効になります。



注記： .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。


.INF および.ICM ファイルのインストール

.INF および.ICM ファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルをディスクからインストールするか、Web サイトからダウンロードしてインストールできます。

ディスクからのインストール

.INF および.ICM ファイルをディスクからコンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. ディスクをコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。ディスクのメニューが表示されます。
2. **[HP Monitor Software Information]** (HP モニター ソフトウェア情報) ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]** (モニター ドライバー ソフトウェアをインストールする) を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュ レートが表示されていることを確認します。

 **注記：** インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニターの.INF および.ICM ファイルを手動でインストールする必要があります。ディスクに収録されている[HP Monitor Software Information]ファイルを参照してください。

Web サイトからのダウンロード

最新のバージョンの.INF および.ICM ファイルを HP のモニターのサポート Web サイトからダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hp.com/support/> (英語サイト) にアクセスし、国または地域を選択します。
2. **[ドライバー & ダウンロード]** リンクを選択し、[検索]フィールドに「**[Z24x]**」と入力して、**[検索]** ボタンをクリックします。
3. お使いのモデルを選択し、言語およびオペレーティング システムを選択します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用

このモニターは、1つのソースをもう1つのソースに重ねて表示する PIP と、1つのソースともう1つのソースを水平 (横向きの場合) または垂直 (縦向きの場合) に並べて表示する PBP の両方をサポートしています。

PIP または PBP を使用するには、以下の操作を行います。

1. 2番目の入力ソースをモニターに接続します。
2. フロント パネルにある5つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、**[メニュー表示]** ボタンを押して OSD を表示します。
3. OSD で、**[PIP コントロール]** → **[PIP のオン/オフ]** の順に選択し、**[PIP (Picture-in-Picture)]** または **[PBP (Picture-beside-Picture)]** を選択します。

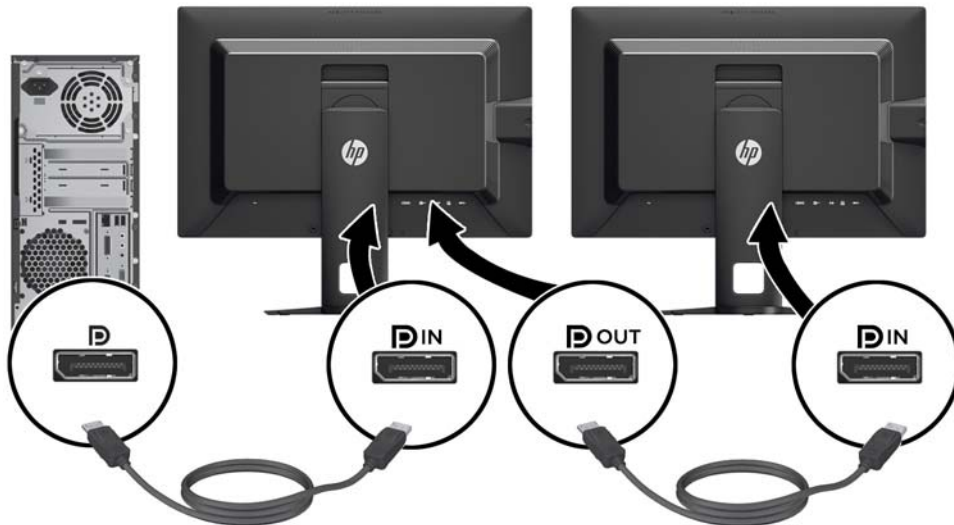
4. モニターは 2 番目の入力をスキャンして有効な入力を検出し、その入力を使用して PIP または PBP 画像を表示します。PIP または PBP 入力を変更する場合は、OSD で**[PIP 入力]**を選択し、目的の入力ソース（**[DisplayPort]**、**[DVI]**、または**[HDMI]**）を選択します。
5. PIP のサイズを変更する場合は、OSD で**[PIP のサイズ]**を選択し、**[大]**または**[小]**を選択します。
6. PIP の位置を調整する場合は、OSD で**[PIP の位置]**を選択し、**[左上]**、**[右上]**、**[左下]**、または**[右下]**を選択します。

DisplayPort マルチストリーム

DisplayPort をメインのビデオ入力ソースとして使用している場合は、デイジー チェーン構成で接続されている他の DisplayPort モニターにマルチストリーム出力できます。この構成で最大 4 台のモニターを接続できます（グラフィックス カードでサポートされる場合）。

DisplayPort マルチストリームを使用するには、以下の操作を行います。

1. DisplayPort がメインのビデオ入力に使用されていることを確認します。
2. DisplayPort ケーブルをメイン モニターの DisplayPort 出力コネクタに接続してから、マルチストリーム用またはマルチストリーム用ではない 2 番目のモニターの DisplayPort 入力コネクタに接続して、2 番目のモニターを追加します。



3. 接続したモニターにメイン モニターと同じ画像または異なる画像が表示されるように、接続したモニターを設定します。接続したモニターのオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで、**[マネージメント]**→**[DisplayPort の互換性]**の順に選択し、以下のどちらかを選択します。
 - a. **[DisplayPort 1.1 互換モード]**（初期設定）：ダウンストリーム ポートに接続したすべての設定中のモニターに同じビデオ画像を送信できます。
 - b. **[DisplayPort 1.2]**：ダウンストリーム ポートに接続したすべての設定中のモニターに異なるビデオ画像を送信できます。
4. OSD で DisplayPort の互換モードを設定したら、コンピューターのオペレーティング システムのディスプレイ設定を使用して 2 番目のモニターの表示モードを設定し、メイン モニターの画像を複製して表示するか、2 番目のディスプレイを拡張してメイン モニターと異なる画像を表示するようにします。

ダウンストリーム ポートにモニターを追加する場合は（最大 4 つ）、最後に接続されるモニターを除くすべてのモニターが DisplayPort マルチストリームをサポートしている必要があります。

1 つのモニターの DisplayPort 出力とその次のモニターの DisplayPort 入力を接続する作業を、目的の数のディスプレイが接続されるまで繰り返します。

各モニターに異なる情報が表示されるようにするには、アップストリーム ポートに接続されたすべてのモニターを上記の[DisplayPort 1.2]モードに設定してください。

DisplayPort マルチストリームを使用して接続できるモニターの数は、各モニターの解像度と走査速度や、GPU または内蔵のグラフィックス システムの機能など、さまざまな要因によって異なります。グラフィックス カードの機能について詳しくは、グラフィックス カードに付属の説明書を参照してください。

ベゼル ボタンの機能の変更

フロント パネルにあるベゼル ボタンのトップレベルの機能を初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

ベゼル ボタンの機能を変更するには、以下の操作を行います。

1. フロント パネルにある 5 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、[メニュー表示]ボタンを押して OSD を表示します。
2. OSD で、[メニューおよびメッセージ制御]→[機能ボタンの設定]の順に選択し、再設定するボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

ベゼル ボタンのランプの調整

ベゼル ボタンのランプは、自動フェードアウト機能が初期設定で有効になっています。ランプは、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのタイムアウト時間が過ぎるとフェードアウトします。このランプの動作を変更し、ランプがフェードアウトしないようにすることができます。また、フェードアウト機能が無効になっている場合は、ランプの明るさを調整できます。

ベゼル ボタンのフェードアウト機能を無効にするには、以下の操作を行います。

1. フロント パネルにある 5 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、[メニュー表示]ボタンを押して OSD を表示します。
2. OSD で、[メニューおよびメッセージ制御]→[ベゼル ボタンの自動フェード]→[無効 (常にオン)]の順に選択します。

ベゼル ボタンのフェードアウト機能が（上記のように）無効になっている場合、フロント パネルのボタンの明るさをさまざまな明るさの周辺光に合わせて調整できます。

ベゼル ボタンの明るさを変更するには、以下の操作を行います。

1. フロント パネルにある 5 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、[メニュー表示]ボタンを押して OSD を表示します。
2. OSD で、[メニューおよびメッセージ制御]→[ベゼル ボタンの明るさ]の順に選択し、調整スケールを使用してボタンを目的の明るさに設定します。

自動スリープ モードの使用

このディスプレイは、ディスプレイの省電力状態を有効または無効にすることができる、[自動スリープ モード]というオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのオプションをサポートしています。自動スリープ モードが有効になっている場合 (初期設定で有効)、ホスト PC から低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは省電力状態になります。


省電力状態のスリープ モードになると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5W 未満です。ホスト PC からアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープ モードから復帰します。

自動スリープ モードは OSD で無効にできます。フロント パネルにある 5 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、[メニュー表示] ボタンを押して OSD を表示します。OSD で、[マネージメント] → [自動スリープ モード] → [無効にする] の順に選択します。

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用

OSD メニューを使用して、ユーザーの好みに応じて画面表示を調整します。OSD にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. フロント パネルの右側にある 5 つのボタンのどれかを押して、ボタンを有効にします。
2. [メニュー表示] ボタンを押して OSD を表示します。
3. メインの 4 つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。ボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

 **注記:** 選択したビデオ入力および設定でサポートされていない OSD メニューの項目は、グレーで表示されます。

OSD のメニュー項目と各機能について説明します。

レベル1	レベル2	レベル3
色空間	sRGB	
	AdobeRGB	
	BT.709	
	ユーザー	
	ネイティブ	
	RGB 調整	暖色 無彩色 寒色 カスタム (RGB)
	輝度の調整	輝度の値を設定 戻る
	色空間情報	現在の色 プライマリ(u'v' / xy) <ul style="list-style-type: none"> 赤 : x.xxx x.xxx 青 : x.xxx x.xxx 緑 : x.xxx x.xxx 白色点(u'v' / xy) <ul style="list-style-type: none"> x.xxx x.xxx 白色点の名前 (例 : D65) ガンマ (x.x または sRGB) 座標表示を xy/u'v'に切り替えます (情報を切り替えて CIE 1931 xy または CIE 1976 u'v'として表示可能) 戻る
		前回調整時の設定に戻す
		工場出荷時の設定に戻す 戻る
ビデオ入力	DisplayPort	
	DVI	
	HDMI	
	ソース自動切り換え	有効にする 無効にする 戻る
		戻る

レベル 1	レベル 2	レベル 3
画像の調整	縦横比表示	ソースの縦横比に合わせる（均等） スクリーン全体に合わせる（不均等） ドットバイドット 戻る
	シャープネス	ソフト レベル 2 レベル 3 レベル 4 シャープ 戻る
	ダイナミック コントラスト	有効にする 無効にする 戻る
	戻る	
	ディスプレイ モード情報	
PIP コントロール	PIP のオン/オフ	PIP (Picture-in-Picture) PBP (Picture-Beside-Picture) オフ 戻る
	PIP のサイズ	大 小 戻る
	PIP の位置	左上 右上 左下 右下 戻る
	PIP 入力	DisplayPort DVI HDMI 戻る
	戻る	プライマリ / PIP ソース情報

レベル1	レベル2	レベル3
言語	ドイツ語	
	繁体字中国語	
	簡体字中国語	
	英語	
	スペイン語	
	フランス語	
	イタリア語	
	日本語	
	オランダ語	
	ポルトガル語	
マネージメント	自動スリープ モード	有効にする 無効にする 戻る
	再開時に電源オン	有効にする 無効にする 戻る
	DDC/CI 通信	有効にする 無効にする 戻る
	自動 EDID アップデート	有効にする 無効にする 戻る
	ホット プラグの開始	有効にする 無効にする 戻る
	DisplayPort の互換性	DisplayPort 1.1 互換モード DisplayPort 1.2 戻る
		戻る

レベル 1	レベル 2	レベル 3
メニューおよびメッセージ制御	ポジション	ボタンを使用してメニューの位置を調整します。完了したら、[戻る]を押します
	不透明度	不透明度の値を設定 戻る
	タイムアウト	タイムアウト値を設定 戻る
	機能ボタンの設定	機能ボタン 1 の設定 機能ボタン 2 の設定 機能ボタン 3 の設定 機能ボタン 4 の設定
	ベゼル ボタンの明るさ	明るさの値を設定 戻る
	ベゼル ボタンの自動フェード	有効（メニューのタイムアウトに従う） 無効（常にオン） 戻る
		戻る
	情報	現在のディスプレイ モード：ディスプレイ モード 色空間：色空間 シリアル番号：シリアル番号 ファームウェアのリビジョン： ファームウェアのリビジョン ID 前回の調整：xxxxx 時間 バックライト動作時間：xxxxx 時間 戻る
工場出荷状態へリセット		

色の管理

このモニターには、標準の色空間設定とユーザーが定義できる色空間設定の両方が搭載されており、さまざまな利用シーンをサポートしています。ほとんどの色空間は工場出荷時に調整済みですが、エンドユーザーは HP DreamColor キャリブレーション キット（別売）を使用して色空間を再調整できます。調整作業では、モニターのカラー ガマット、RGB プライマリ、ガンマ、および輝度を制御設定できます。RGB 調整で選択された色は調整されておらず、調整することもできません。

カラー プリセット

定義されている調整済みの色空間プリセットは以下のとおりです。

カラー プリセット	赤のプライマリ		緑のプライマリ		青のプライマリ		白色点	ガンマ	輝度 (cd/m2)
	u'	v'	u'	v'	u'	v'			
sRGB	0.451	0.523	0.125	0.563	0.175	0.158	D65	sRGB	250
AdobeRGB	0.451	0.523	0.076	0.576	0.175	0.158	D65	2.2	250
BT.709	0.451	0.523	0.125	0.563	0.175	0.158	D65	2.4	120
ユーザー	ユーザー	ユーザー	ユーザー	ユーザー	ユーザー	ユーザー	ユーザー	ユーザー	ユーザー
ネイティブ	パネル	パネル	パネル	パネル	パネル	パネル	パネル	2.2	最大 (100%)

ユーザーは、プライマリと白色点の精度を維持したまま、各色空間に対して輝度を目標値より上または下に調整できます。

RGB 調整で選択された色は調整されておらず、次の色が含まれます。

- 暖色（約 5000K）
- 無彩色（約 6500K）
- 寒色（約 9300K）
- カスタム（RGB）（ユーザーが調整可能な赤、緑、青の設定）

色補正：工場出荷時

3つの標準の色空間（sRGB、AdobeRGB、および BT.709）が工場出荷時に設定されており、1ページの補正レポート（印刷物）が各モニターの梱包箱に付属しています。

ネイティブの色空間は、パネルの輝度が最大になるように工場出荷時に設定されています。

ユーザーの色空間の初期設定は、ネイティブと同じです。

工場出荷時の補正設定はモニターのメモリに保存されており、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューからいつでも適用しなおすことができます。

色補正 : ユーザー

ネイティブのパネル色空間を除き、各色空間は、製品に付属のキャリブレーション ソフトウェアおよび測色器（別売の DreamColor キャリブレーション キットに付属）を使用してエンド ユーザーが調整できます。キャリブレーション ソフトウェアは Windows ベースのアプリケーションで、Windows 7 以降のオペレーティング システムを使用する必要があります。キャリブレーションを実行するには、以下の操作を行います。

1. ホスト コンピューターの CD/DVD ドライブにモニターのドキュメンテーション ディスクを挿入します。
2. キャリブレーション プログラムをホスト コンピューターにインストールします。
3. 説明に沿って、DreamColor キャリブレーション キットの測色器をモニター パネルの前面に設置します。
4. キャリブレーション ソフトウェアを実行し、画面の説明に沿って操作します。キャリブレーションを行って名前を付けられる色空間は、一度に 1 つです。以下の 2 つの調整方法を選択できます。
 - ウィザード モード : アプリケーションがユーザーの環境および使用方法を質問し、使用する設定を提案します。
 - 上級者モード : キャリブレーション中に、使用するすべての変数を入力するよう求められます。

キャリブレーションが完了すると、プロファイルがモニターのメモリに保存されます。最新のキャリブレーション設定を、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューからいつでも適用しなおすことができます。

自動 EDID アップデート


初期設定では、色空間を切り替えるとディスプレイ EDID が自動更新されます。

自動 EDID アップデートが有効になっている場合、アクティブな色空間プリセットを変更するたびに EDID がすべての入力に対して更新されます。自動 EDID アップデートが無効になっている場合、各入力はネイティブ色空間用の工場出荷時の値に設定されます。

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで自動 EDID アップデートの有効/無効を切り替えるには、以下の操作を行います。

1. フロント パネルの右側にある 5 つのボタンのどれかを押しボタンを有効にします。
2. [メニュー表示] ボタンを押し OSD を表示します。
3. OSD で、[マネージメント]→[自動 EDID アップデート]の順に選択し、[有効にする]または[無効にする]を選択します。

A 技術仕様

 **注記：** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

Z24x モデル

ディスプレイ	24 インチ (61.0 cm) ワイド スクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	24 インチ / 61.0 cm (対角方向)
最大質量 (非梱包時)	7.1 kg
寸法 (スタンドを含む)	
高さ (最も高い位置のとき)	52.5 cm
高さ (最も低い位置のとき)	40.5 cm
奥行き	23.8 cm
幅	56.0 cm
最大グラフィックス解像度	1920×1200 (60 Hz) デジタル入力
最適グラフィックス解像度	1920×1200 (60 Hz) デジタル入力
環境条件 動作保証温度：	
動作時	5~35°C
保管時	-20~60°C
電源	100~240 VAC、50/60 Hz
入力端子	DisplayPort 入力コネクタ×1、DVI コネクタ×1、HDMI 入力端子×1

注記： この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/productbulletin/> (英語サイト) にアクセスして、該当するディスプレイ モデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

プリセット ディスプレイ解像度について

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、工場出荷時設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセット	ピクセル フォーマット	画面比率	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)
1	640×480	4:3	60 (p)	25.175
2	720×480	4:3	60 (i)	27.000
3	720×480	4:3	60 (p)	27.000
4	720×480	16:9	60 (i)	27.000
5	720×480	16:9	60 (p)	27.000
6	720×576	4:3	50 (i)	27.000
7	720×576	4:3	50 (p)	27.000
8	720×576	16:9	50 (i)	27.000
9	720×576	16:9	50 (p)	27.000
10	800×600	4:3	60.317	40.000
11	1024×768	4:3	60.004	65.000
12	1280×720	16:9	24 (p)	59.400
13	1280×720	16:9	30 (p)	74.250
14	1280×720	16:9	50 (p)	74.250
15	1280×720	16:9	60 (p)	74.250
16	1280×1024	5:4	60.020	108.000
17	1366×768	16:9	60.000	72.000
18	1600×1200	4:3	60.000	162.000
19	1920×1080	16:9	24 (p)	74.250
20	1920×1080	16:9	30 (p)	74.250
21	1920×1080	16:9	50 (i)	74.250
22	1920×1080	16:9	50 (p)	148.500
23	1920×1080	16:9	60 (i)	74.250
24	1920×1080	16:9	60 (p)	148.500
25	1920×1200	16:10	59.950	154.000

注記： (i) はインターレース モードを示します。(p) はプログレッシブ スキャン モードを示します。印がない場合、モードはプログレッシブ スキャンです。

B サポートおよびトラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法


以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されないか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターのフロント パネルにある電源ボタンがオフになっている	フロント パネルの電源ボタンを押します 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします。
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは、 5 ページの「モニターの設置」 を参照してください 注記： DisplayPort 入力を使用している場合は、ケーブルがモニター背面の中央にある DisplayPort 入力コネクタに接続されていることを確認してください。ケーブルが DisplayPort 出力コネクタに接続されている場合、モニターは機能しません
画面表示を消すユーティリティが有効になっている	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
	ビデオカードの互換性に問題がある	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [ビデオ入力] を選択します。入力ソースの自動切り替え機能を [無効にする] に設定し、手動で入力を選択します
モニターの電源が入らない	モニターのリア パネルにある主電源スイッチがオフになっている	主電源スイッチをオンにします
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度が低すぎる	OSD メニューを開いて [色空間] → [画面の輝度] の順に選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
	シャープネスがソフトすぎる	OSD メニューを開き、 [画像の調整] → [シャープネス] の順に選択して、シャープネスのレベルを選択します
[Check Video Cable]と画面に表示される	モニターのビデオ ケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range]というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳しくは 36 ページの「プリセット ディスプレイ解像度について」 を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	OSD メニューを開き、 [マネージメント] → [自動スリープモード] → [有効にする] の順に選択します
[OSD Lockout]と画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	メニュー表示ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD のロックを解除します

トラブル	原因	解決方法
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します
ベゼル ボタンのランプが点灯しない	初期設定で、ベゼル ボタンのランプは未使用時にフェードアウトするように設定されている	ベゼル ボタンのランプが常に点灯するように設定するには、OSD メニューを開き、[メニューおよびメッセージ制御]→[ベゼル ボタンの自動フェード]→[無効 (常にオン)]の順に選択します
ベゼル ボタンのランプが常に点灯しているが、明るすぎるかまたは暗すぎる	ベゼル ボタンの自動フェードが OSD で無効になっている、明るさの調整が必要である	OSD メニューを開き、[メニューおよびメッセージ制御]→[ベゼル ボタンの明るさ]の順に選択して、明るさの値を調整します
色が正しく表示されない	モニターが調整されていない	モニターを再調整するか、[出荷時設定にリセット]を実行します
調整ができない	セットアップが正しくないか、機器が故障している	調整をやりなおします

製品サポート


コンピューターの使用方法について詳しくは、<http://www.hp.com/support/> を参照してください。国または地域を選択し、[製品サポート/保守情報]を選択してから、お使いのモデルを検索フィールドに入力して、[検索]ボタンをクリックします。

 **注記：** モニターの説明書、リファレンス ガイド、およびドライバーは、<http://www.hp.com/support/> から入手できます。

このガイドに記載されている情報では問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本での製品サポートについては、日本向け製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』または HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

以下の作業を実行できます。

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

 **注記：** 特定の言語でチャット サポートを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- HP のサポート窓口の電話番号を調べる
- HP のサービス センターを探す

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、サポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになる際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

C 規定に関するご注意

Federal Communications Commission Notice (米国向け)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rule. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice (カナダ向け)

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations. CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

Avis Canadien (カナダ向け)

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice (欧州連合同向け)

Products bearing the CE marking comply with one or more of the following EU Directives as may be applicable:



- Low Voltage Directive 2006/95/EC; EMC Directive 2004/108/EC; Ecodesign Directive 2009/125/EC; R&TTE Directive 1999/5/EC; RoHS Directive 2011/65/EU
- Compliance with these directives is assessed using applicable European Harmonised Standards.
- The full Declaration of Conformity can be found at the following web site:
<http://www.hp.eu/certificates>.
- (Search with the product model name or its Regulatory Model Number (RMN), which may be found on the regulatory label.)

The point of contact for regulatory matters is Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS:HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY.

German Ergonomics Notice (ドイツ向け)

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements. The installation guides included with the products provide configuration information.

日本向け

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

Korean Notice (韓国向け)

B급 기기
(가정용 방송통신기기)

이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードの要件

このモニターの電源には自動ライン電圧切替機能 (ALS) が付属しています。この機能によって、モニターは 100~120 V または 200~240 V の AC 電圧で動作します。

このモニターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、導体の断面積は 0.75 mm²/18 AWG 以上、コードの長さは 1.8~3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

△ 注意： 付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

製品環境に関するご注意

国際エネルギー スター プログラムへの適合

当社は、国際エネルギー スター プログラムの事業参加者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していることを保証するために、EPA の拡張された製品準拠および認定プロセスに従っています。

以下のマークは正規のエネルギー スター認定のすべてのディスプレイに貼付されています。



ディスプレイおよびコンピューター用のエネルギー スター プログラムの仕様は、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として作成されたものです。このため、HP の製品には、Microsoft Windows の電源管理機能によって、製品を使用していないときにエネルギー消費を削減する省電力機能が搭載されています。

電源管理機能によって、一定の時間使用していない状態が続くと、コンピューターが省電力モードまたは「スリープ」モードに切り替わります。また、エネルギー スター プログラムの認定を受けた外部ディスプレイを接続して電源管理機能を使用する場合、この機能では、ディスプレイの類似の電源管理機能もサポートされます。この機能を活かすには、ユーザーはエネルギー スター認定のコンピューターおよびディスプレイで提供されている電源管理の初期設定を使用する必要があります。システムが外部電源で動作している場合は、この電源管理の初期設定によって、エネルギー スター認定のコンピューターが以下の動作を行うように設定されています。

- 無操作状態が続くと、15 分後に外部ディスプレイの電源がオフになる
- 無操作状態が続くと、30 分後に省電力のスリープ モードを開始する

ユーザーがコンピューターの使用を再開した場合は、エネルギー スター認定のコンピューターでは省電力のスリープ モードを終了します。また、エネルギー スター認定のディスプレイでは操作を再開します。これには、ユーザーが電源/スリープ ボタンを押した場合、入力デバイスから入力信号を受信した場合、有効になったウェイク オン LAN (WOL) 機能を使用してネットワーク接続から入力信号を受信した場合などがあります。

エネルギー スター プログラムの環境への貢献、電源管理機能によるエネルギー消費および経費の削減の可能性について詳しくは、EPA のエネルギー スターの電源管理に関する Web サイト、<http://www.energystar.gov/powermanagement/>、(英語サイト) を参照してください。

有害物質の破棄

一部の HP LCD モニターには、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体または EIA (Electronic Industries Alliance) (<http://www.eiae.org/>、英語サイト) に問い合わせてください。

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union (欧州連合向け)



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

HP リサイクル プログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクル プログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。各国や地域の HP でのリサイクル プログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/> (英語サイト) を参照してください。

化学物質

HP では、REACH (Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council) などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、<http://www.hp.com/go/reach/> (英語サイト) にアクセスしてください。

製品の部材表示について

日本における製品含有表示法、JISC0950, 2008 に基づき、製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売された電気・電子機器の特定化学物質の含有について情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、<http://www.hp.com/go/jisc0950/> (英語サイト) を参照してください。

China Restriction of Hazardous Substances (中国向け)

有毒有害物质/元素的名称及含量表

根据中国
《电子信息产品污染控制管理办法》

液晶显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
液晶显示器显示面板	X	X	○	○	○	○
机箱/其它	X	○	○	○	○	○

CRT 显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
阴极射线管	X	○	○	○	○	○
机箱/其它	X	○	○	○	○	○

O: 表示该有毒或有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X: 表示该有毒或有害物质至少在该部件所用的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

表中标有“X”的所有部件都符合欧盟 RoHS 法规 — “欧洲议会和欧盟理事会 2003 年 1 月 27 日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的 2002/95/EC 号指令”。

注: 环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件。

Turkey EEE Regulation (トルコ向け)

In Conformity with the EEE Regulation

EEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine Restriction of Hazardous Substances (ウクライナ向け)

The equipment complies with requirements of the Technical Regulation, approved by the Resolution of Cabinet of Ministry of Ukraine as of December 3, 2008 No. 1057, in terms of restrictions for the use of certain dangerous substances in electrical and electronic equipment.

D LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針

この TFT モニターは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HP の製造基準に基づいて製造されています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供される LCD ディスプレイにも共通するもので、HP 製の LCD に特有の問題ではありません。1 つまたは複数のピクセルやサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1 つのピクセルは、赤、緑、青のそれぞれ 1 つずつのサブピクセルで構成されています。
- 欠陥のあるピクセルは、常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）場合と、常に消灯している（明るい画面に暗点が表示される）場合があります。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセルより見えづらくなっています。これは、サブピクセルが小さく、特定の背景画面のときにしか確認できない場合があるためです。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニターを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュ レートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ない LCD が生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。